

尾川悦子の10年の歩み

昭和32(1957)年1月生まれ(46才)みずがめ座

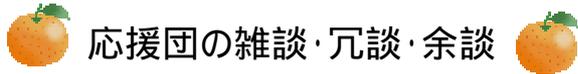
- H 6 豊中市より猪名川町へ転入 
- H 6 ~ 猪名川町手をつなぐ育成会会員
・図書館談話室喫茶コーナー開設に参加(H12~)
- H 9 猪名川小学校PTA会長
- H 10 つつじが丘小学校PTA副会長
第4次猪名川町総合計画審議会委員(一般公募委員)
- H 11 猪名川町男女共同参画推進懇談会委員(")
・男女共同参画フォーラムでパネラーとして参加。

- H 1 2 猪名川中学校PTA副会長
- ~ 1 3 猪名川町PTA連合会役員(H9, 10, 13)
猪名川中学校区青少年健全育成推進会議役員(H9~12)
猪名川町青少年指導員(H12, 13)
猪名川町子ども会連絡協議会理事(H10~)
- H 1 4 (仮)障害者福祉センター基本構想懇談会委員

その他の活動

パソコンボランティア「夢ネット・いながわ」
バリアフリーボランティア「すたじお あ〜とぴあ」

「この10年間の人との出会いは私の宝物です！」



応援団の雑談・冗談・余談

- その1 -

今年、9月28日に町議会議員選挙が行われます。
町の選挙はこんな感じです。
いくつかの統計データを示します。

< 前回選挙時 (H11年) >

有権者数：約21,000人

投票率：町内平均67%

投票場別投票率

80%以上(槻並、柏原、阿古谷)

65%以下(白金、若葉、松尾台、つつじ)

当選得票：最高1157票、最少472票

< 現状 (H15年) >

若い人や女性もがんばれ

現役議員年齢

最高齢78才、最年少50才(平均63才)

議員定数 20名、(男性17名 女性3名)

H15年秋の選挙より定数が2名減の18名

- その2 -

このまちの人と自然を活かしたい

応援団と尾川の提案

人が生まれてから一生を終えるまでの一貫した
その時期にあった生活支援サービスが必要。
縦の充実、横への広がりをもっと行政は考えるべき。

町のイベント、各種委員会、協議会の運営を見直し
予算の有効活用も充分考え統合、縮小の検討も。
いいものは復活も。

人の手をちゃんと加えた自然の維持管理を。
自然を活かし、町をもっと内外にアピールしないと。

若い人も「まちづくり」に興味を。若いボランティアや
議員が育つ環境づくりと実践の機会を。
隣接市では20代議員も。

高齢化や少子化は確実に進んでいる。
プラスの発想で町の活性化(職作り)に利用を。

選挙運動のやり方も考える必要あり。
例えば騒音と渋滞のもと、選挙カーをやめては？

選挙には必ず行きましょう。
棄権は「NO」の町に！

投票に来た人に参加賞や抽選券を
配布したりしてみたら？
まじめに町を考える人たちに
「得」なこともなくちゃね。

何かイベントを同時開催とか
「選挙まつり」にすればどう？



私にとって猪名川町は勤務で疲れた心身をリフレッシュし
てくれる単なるベッドタウンに過ぎませんでした。しかし退職
後は「生活の場所」と言うだけではなく「生活そのもの」にな
ったように思います。

そこで町の為に何か恩返しをと考えましたが、自分の無
力さを痛感し、せめて力のある方のお手伝いでも出来れば
と、この度の応援の依頼を受ける事にしました。
彼女には損得を考えない行動力があり創造力がある。失
敗を人のせいにはしない責任感がある。いま、こんな人が望
まれるのでは？ - 虎と猪名川を応援する凡人より -

がんばれ！ OGAWA

時代はこれまでと違い、猛烈な勢いで変化しています。そ
の上、地方分権の流れが強まる状況の下でこれらの変化
に対応できる人が「町政」にも求められます。

我々の生活に直結する町政こそ今、改革すべきです。変
化に柔軟に対応し、新たな志向を創り出し実践できる、しか
も奉仕の精神を持っている人を代弁者として送り出したい。

尾川悦子さん！貴女はまさに「その人」です。生活実感が
あり、視野を広くお持ちの貴女にこの町の行くべき方向へ
の手を貸して頂きたい、と強くねがうものです。

ボランティアの心豊かな尾川さんにぜひともの確な町政
の未来を託したいのです。

- 猪名川町を”ついの^{すゝか}棲家”とする一住民より -